

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)				
			会計	投入コスト		活動実績(R2)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)				
防犯交通安全課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	駅周辺の良好な生活環境を確保するためには、自転車駐車場の設置が不可欠である。しかしながら、市営自転車駐車場は設置から相当年数が経過しており、修繕が必要な施設・設備がある。	R2年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを						
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	54,561千円	54,276千円	①市営自転車駐車場等の施設数	市営自転車駐車場月平均利用台数	適正な自転車駐車場を設置し、利用者を増やすことで放置自転車を減少させ、市内各駅周辺の良好な生活環境を保持する。				小手指駅南口第2自転車駐車場のサイクルラック(半数)を修繕した。また、小手指駅北口第3自転車駐車場において、場内灯支柱の修繕を行った。							
	自転車駐車場整備事業	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②市営自転車駐車場等の収容能力	R1実績	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み							
		所沢市自転車駐車場条例	56,682千円	56,618千円	実績	23,254台	13,081台	駅への利便性が高い場所に民間の自転車駐車場が新設されている。市民が自転車駐車場を利用する際の選択肢が増えたからだと考えられる。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための緊急事態宣言により、駅へアクセスする機会が少なかったと考えられる。放置自転車の撤去台数は年々減少しているため、駅周辺の環境については悪化していない。										
		事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員非常勤特別職	R132箇所	R2目標	R2実績											
		駅にアクセスするための交通手段である自転車の駐車スペースを確保し、駅周辺の自転車の駐車秩序を図る。 ・各駅周辺における適切な規模の自転車駐車場を設置し、維持管理を行う。 ・管理運営は指定管理者制度を取り入れ、市民サービスの向上と経費の削減を図る。	0.75人	0.00人	②23,254台	23,254台	11,354台											
	期間	R2正規職員人件費	R2その他職員非常勤特別職	③32箇所	R3目標													
	S50~		0.75人	0.00人	②23,254台	23,254台					評価者			防犯交通安全課長 粕谷 広和	どのよう貢献したか	自転車駐車場を整備することで、自転車利用の増加と放置自転車を減少を図り、駅周辺の生活環境を改善した。		
	防犯交通安全課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠			S			毎年、放置自転車の台数は減少してきており、見直しの効果が上がってきていると考えられる。今後も、市内駅周辺の歩行者等が安全に通行できるよう、放置自転車台数の減少を図っていくことが必要である。	R2年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを		
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	50,099千円	49,124千円	①年間撤去台数	自転車放置台数	11月の晴れの平日に自転車放置禁止区域に放置された自転車の数							放置自転車指導員について、配置人数の見直しを図り、コストの削減に努めた。			
放置自転車対策事業		根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②年間撤去日数	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み									
		所沢市自転車駐車場の整備及び自転車の放置の防止に関する条例	50,603千円	50,521千円	③年間撤去台数/年間撤去日数	37台以下	30台	全体の台数は減少傾向にある。引き続き放置自転車の台数が減少するよう、各駅周辺の環境変化や放置自転車の増減等から、より効果的な人員配置を検討していく。										
		事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員非常勤特別職	実績	R2目標	R2実績											
		放置自転車禁止区域での立哨指導や放置自転車の撤去により、駅周辺の良好な生活環境を保持する。 ・駅周辺に放置自転車指導員を配置し、放置自転車防止の指導及び自転車駐車場への誘導を行う。 ・自転車放置禁止区域等の放置自転車の撤去を定期的実施する。 ・自転車保管場所へ移動した自転車の所有者について警察に照会し、はがきを送付して返還する。	0.80人	0.00人	①662台	37台以下	7台											
期間		R2正規職員人件費	R2その他職員非常勤特別職	②39日	R3目標													
S50年~			0.90人	1.00人	③17.0台	37台以下			評価者	防犯交通安全課長 粕谷 広和		どのよう貢献したか	駅周辺の放置自転車を減らすことで、歩行者等の通行の安全性の拡大を図った。					
防犯交通安全課		実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		-		所沢駅西口土地区画整理事業の進捗状況に併せ設計時期等を見直した。また、所沢駅周辺の放置自転車や民間駐輪場の収容状況等を注視しながら、適正な台数の自転車駐車場を設置する必要がある。	R2年度に改善した点		11. 住み続けられるまちづくりを			
		優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	0千円	0千円	①所沢駅西口の放置自転車撤去台数(年)	(暫定)所沢駅西口第1自転車駐車場の収容台数	既存の所沢駅西口第1自転車駐車場の利用者分の自転車駐車場を整備し、同駅西口周辺の放置自転車を減らす。					所沢駅西口区画整理事業の進捗状況に併せ設計時期等を見直した。					
	所沢駅西口第1自転車駐車場整備事業	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②所沢駅西口第1自転車駐車場の利用台数(11月度)	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み									
		所沢市自転車駐車場条例	0千円	0千円	③(暫定)所沢駅西口第1自転車駐車場の整備済み収容台数	既存の自転車駐車場の利用台数	0.0%	所沢駅西口区画整理事業の工事の進捗状況に併せて、整備時期等を変更したため										
		事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員非常勤特別職	実績	R2目標	R2実績											
		所沢駅西口土地区画整理事業により、既存の所沢駅西口第1自転車駐車場が所沢駅ふれあい通り線の建設地と重なり使用不可となる。このことを受け、所沢駅西口周辺における放置自転車の防止を図ることを目的として、所沢駅西口土地区画整理事業地内に「(暫定)所沢駅西口第1自転車駐車場」を設置するものである。	0.45人	0.00人	①34台	既存の自転車駐車場の利用台数	0.0%											
	期間	R2正規職員人件費	R2その他職員非常勤特別職	②954台	R3目標													
	R1~		0.45人	0.00人	③0台	既存の自転車駐車場の利用台数			評価者		防犯交通安全課長 粕谷 広和		どのよう貢献したか	現状の利用者数等や所沢駅西口土地区画整理事業の進捗状況に併せ設計を行った。				
	道路維持課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠			B		安全施設の要望は一定している中で、道路反射鏡などは設置について一部明確化していくなど優先順位を定めて対応していく。	R1年度に改善した点		3. すべての人に健康と福祉を		
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	56,226千円	55,741千円	①道路反射鏡整備数(修繕・新設)	要望・通報に対する処理割合	交通事故の多い危険箇所に対し、通行の安全性を確保するための道路安全施設の設置及び適切な管理をすることが目的となっているため、要望・通報件数に対して処理した件数の割合を指標とする。						道路反射鏡の設置について、設置基準の見直しなどをすすめ、できる限り効果的に整備を進めるため優先順位を決めて対応した。				
道路安全施設整備事業		根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②道路区画線整備箇所数	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み									
		道路法、道路構造令、所沢市道路の構造の技術的基準等を定める条例、所沢市移動円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例、交通安全対策基本法	75,874千円	74,831千円	③要望・通報件数	100.0%	79.1%	安全施設に関する要望は、優先順位をつけて対応しており、昨年度と同様に推移しているが、要望のすべてを処理するためには限られた財政状況等のため年度内の処理ができていない案件がある。										
		事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員非常勤特別職	実績	R2目標	R2実績											
		交通事故の多い危険箇所における、通行の安全性を確保するため、道路反射鏡や道路区画線などを設置。さらに設置した交通安全施設を適切に管理する。	2.92人	0.00人	①123箇所	100.0%	79.0%											
期間		R2正規職員人件費	R2その他職員非常勤特別職	②82箇所	R3目標													
S57~			2.87人	0.00人	③675件	100.0%			評価者	道路維持課長 相沢 渉		どのよう貢献したか		交通事故発生危険箇所に対し安全施設の設置や修繕を実施し、交通安全を確保した。				